

3 歴史に学ぶということ！—その深さと厳しさ—（その2）【全15回】／開催方法：現地

ふじしまたてき
藤島建樹

大谷大学名誉教授
真宗大谷派圓浄寺住職



受講料 会員料金：¥25,000 早割価格：¥24,000（納入期限：5月9日）

【日程】【全15回】 2回／月 第2・4土曜日
(5/14, 5/28, 6/11, 6/25, 7/9, 7/23, 10/8, 10/22, 11/12,
11/26, 12/10, 12/24, 2023/1/28, 2/11, 2/25)

【時間】10:30~12:00

■受講に必要なもの

[テキスト] レジューメ配布

2年前の春、いつもの様に書店で新刊書を見ていた時「中国の歴史」と記した新書版全五巻が目にとまりました。久方ぶりの中国史関係の概説書でしたので、早速手に取り、序文から開いて立ち読みを始めました。そこで強調されていたのは、従来なされてきた日本の中国史研究が、中国という多元的な顔と動きをとらえきれなかったことを見て、グローバル化の現代にふさわしい中国の顔と姿に迫れる多元的な中国史の叙述が必要であろうと提言されていた。全五巻というのは従来の中国史概説より短い中で多元性をどこまでとらえることができるであろうか。また中国史の大きな魅力である英雄の人物描写も抑えられて歴史的な言葉もひかえ目に述べられているようである。

要するに従来の中国史研究の重厚な叙述を押えつつ、多元的視野で将来の「ユーラシア大陸史」を意図することのようであるが、その記載は多元的に及ぶことを理解しつつ「大学一年生」に読んでもらえるものを意図することも期待して、もう一年この新しい中国史を考究してみたいと思っている。

【参考書】

- ①岩波新書〈シリーズ 中国の歴史〉1「中華の成立 唐代まで」
著者：渡辺信一郎 出版社：岩波書店 出版年：2019
- ②岩波新書〈シリーズ 中国の歴史〉2「江南の発展南宋まで」
著者：丸橋充拓 出版社：岩波書店 出版年：2019
- ③岩波新書〈シリーズ 中国の歴史〉3「草原の制覇 大モンゴルまで」
著者：古松崇志 出版社：岩波書店 出版年：2020
- ④岩波新書〈シリーズ 中国の歴史〉4「陸海の交錯明朝の興亡」
著者：檀上寛 出版社：岩波書店 出版年：2020
- ⑤岩波新書〈シリーズ 中国の歴史〉5「[中国]の形成 現代への展望」
著者：岡本隆司 出版社：岩波書店 出版年：2020